

令和3年4月29日

山根正子氏の叙勲について

令和3年4月29日、日本国政府は、令和3年春の叙勲受章者を発表しました。ネパールからは、当地にて長年に渡り医療ボランティア活動を続けてきた功績により、山根正子氏が旭日単光章叙勲を授与されました。山根氏が叙勲を受けられたことを心からお祝いいたします。

山根氏は、昭和58年からネパールにおいて保健医療ボランティアとして活動を開始し、それ以後30年以上に亘り、経済的に困難な状況のため、病院に通えない人々に対してボランティアで治療を続けてきました。

昭和61年に診療所RHE SC (Rural Health Education and Service Center) を開設し、カトマンズ盆地北東部の農村等遠隔地の社会的、経済的に恵まれない方々を対象として診療を開始しました。現在では同診療所にネパール全土から人々が訪れるようになり、年間延べ約15,000人の病気予防と治療が行われています。

平成27年のネパール大地震2か月後からは、医師が不在で甚大な被害を被った山村の巡回診療を開始し、この活動は山村の人々に大きな希望と安心を与え、震災復興に大きく貢献しました。

山根氏の活動はネパールの医療サービスの向上に貢献するとともに、同国における日本の国際貢献の認知にも寄与しています。なお、山根氏は平成29年度に在外公館長表彰も受賞されています。

(了)